
2024年度 第2四半期 業績 決算説明資料

先生と患者さんに喜ばれたい



2024年8月13日

■会社概要	3
■通信販売事業カタログ	4
<u>2024年度 第2四半期 業績</u>		
■業績概要	6
■2024年度 主なトピックス	7
■事業別売上高・総利益	9
■通信販売事業の売上高・総利益	10
■その他の事業の売上高・総利益	11
■販売費及び一般管理費	12
■貸借対照表	13
■キャッシュ・フローの状況	14
■設備投資・減価償却費	15

2024年度 通期業績予想

■通期業績予想	17
■年間配当(予想)	18

APPENDIX

1. ニッセンHDの株式取得について	20
2. Imagoworks社との 資本業務提携について	21

注記事項

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

企業名	株式会社歯愛メディカル
本店所在地	石川県白山市鹿島町一号9番地1
代表者	代表取締役社長 清水 清人
設立	2000年1月
資本金	1,000万円
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:3540)
従業員数	971名(うち、臨時雇用者数 477名) (連結2024年6月末)
拠点	<p><ショールーム> 東京、大阪、岐阜羽島</p> <p><営業拠点> 札幌、仙台、東京、長野、名古屋、大阪、広島、福岡、鹿児島</p> <p><その他拠点> Ci CAD/CAMセンター 3D Design Lab(石川)</p>
経営理念	先生とその患者さんに喜ばれたい。 更に社員、取引先に喜んでもらえる会社になりたい

当社は歯科医院や歯科技工所を中心に、各種医療機関への通信販売等を主たる業務としております。経営理念のもと、徹底した「お客様視点」を重視し、全国およそ6万軒の歯科医院に納品、歯科業界での歯ブラシ販売本数、また歯科通販売上高ではトップシェアとなっております。

カタログ通販

通信販売用カタログを年1回～数回発行
更に適宜、毎月1回以上のセール、DM等により、顧客ニーズに細かく対応しています



歯科医院向け



歯科技工所向け



介護・福祉施設向け



動物病院向け



病院・一般診療所向け



幼稚園・保育園向け



理美容・エステサロン向け



調剤薬局向け



歯科医院向け



クリニック向け

2024年度

第2四半期 業績

2024年度 第2四半期 業績概要

- 当第2四半期は、引き続き主力の通販事業、大型医療機器販売事業、CAD/CAM関連事業等において売上高を堅調に拡大、通信販売事業、電力小売取次事業等で前連結会計年度より価格転嫁を進め総利益額は増加しましたが、更なる円安の進行等により総利益率は低下しました。
- 新本社ロジスティクス竣工(2023年10月2日)により同センターに係る減価償却が開始するとともに、同センター完全稼働までの移行期間は新旧センター並行稼働により販管費が増加しました。なお、当期(2024年12月期)に見込まれる同センターに係る補助金額の確定に伴う影響に関しては、12ページに記載しております。

(単位:億円)	2023年 6月	売上 構成比	2024年 6月	売上 構成比	増減	
					金額	前年比
売上高	222.0	100.0%	243.2	100.0%	21.2	109.5%
総利益	59.3	26.7%	62.2	25.6%	2.9	104.9%
営業利益	17.7	8.0%	9.8	4.0%	▲7.9	55.6%
経常利益	19.5	8.8%	9.7	4.0%	▲9.8	49.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12.3	5.5%	5.8	2.4%	▲6.5	47.1%
1株当たり 四半期純利益	24.53円		11.55円			

1月

令和6年能登半島地震が発生
本社ロジスティクスセンター及び本社事務所等の建物及び設備への被害は少なく、
一次避難所として地域の方へ開放
歯ブラシ、除菌ウェットティッシュ、洗口液等の必要物資を被災地に提供

また、被災地域の歯科医院様、福祉介護施設様等に対して義援金並びに飲料水、
歯ブラシ、除菌ウェットティッシュ等の支援物資を提供

2月

Ciデンタルショーin名古屋を開催

4月

Ciデンタルショーin大阪を開催



Ciデンタルショー会場

5月

新物流センターについて、3月末に歯愛メディカル本体の移転が完了し、5月末に当社子会社（株式会社デンタルフィット）を含めた完全移転が完了したことで、旧センターとの並行稼働は終了
（そのため当期第1四半期・第2四半期比較で、倉庫人件費、荷造運賃発送費、梱包材料費
などのロジスティック関連費用は減少しております）

6月

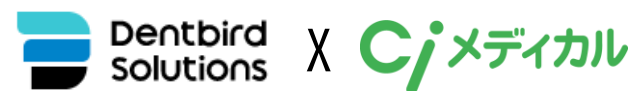
韓国Imageworks社と資本業務提携契約を締結
歯科分野のDX化において、今後さらなる取り組み強化を予定（詳細は21ページ）

6月

Ciデンタルショーin福岡を開催

7月

(株)ニッセンホールディングスの全株式を取得
通信販売事業の拡大に向けて取り組みを開始
(詳細は20ページ)

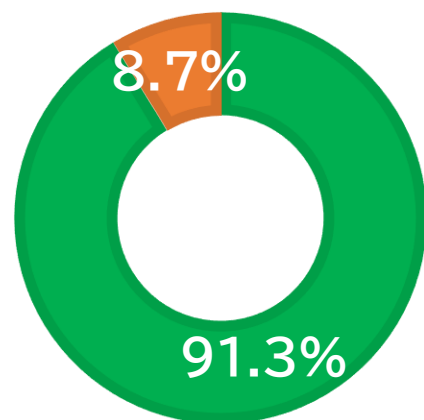


Imageworks社との取り組み

2024年度 第2四半期 事業別売上高・総利益

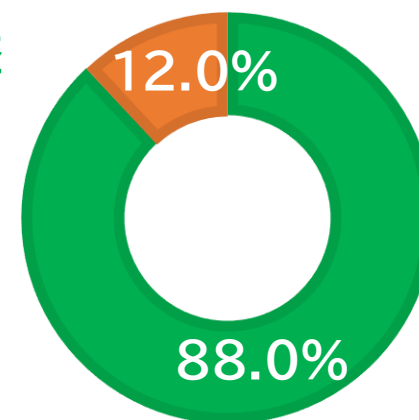
(単位:億円)		2023年 6月	2024年 6月	増減	
				金額	前年比
通信販売事業	売上高	207.5	222.0	+14.5	107.0%
	総利益	53.8	54.7	+0.9	101.7%
	通販事業の 総利益率	25.9%	24.7%	—	—
その他の事業	売上高	14.5	21.2	+6.7	146.2%
	総利益	5.5	7.5	+2.0	136.6%
	その他事業の 総利益率	37.7%	35.3%	—	—

売上高



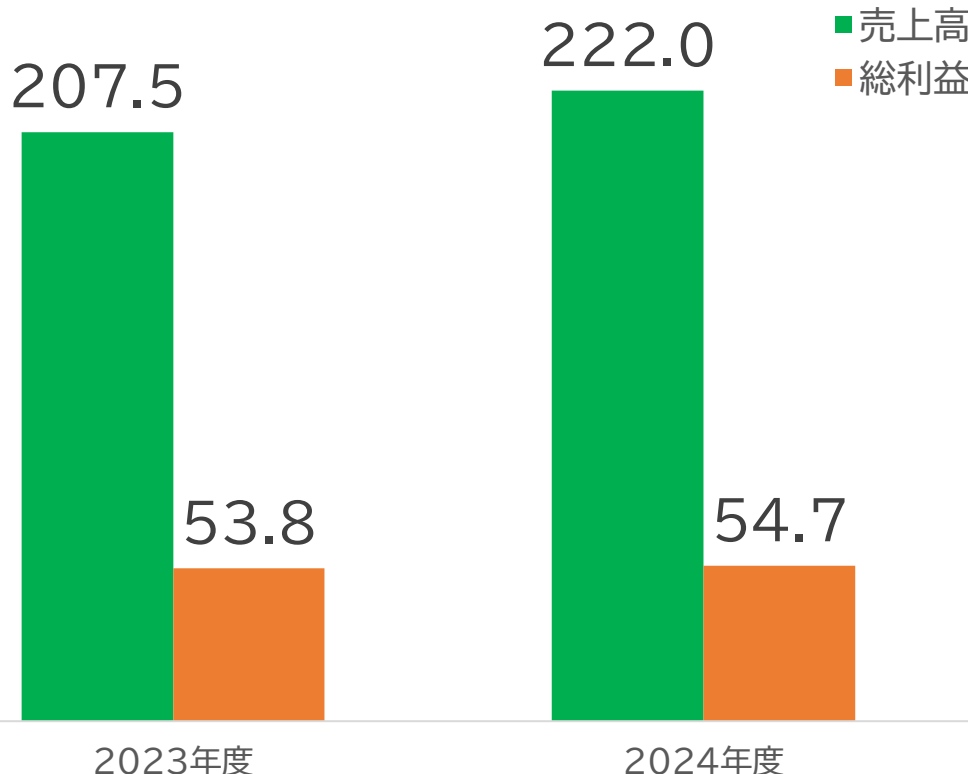
■通信販売事業 ■その他事業

総利益



■通信販売事業 ■その他事業

通信販売事業



売上収益 +14.5億円

- 【+】・通販事業は全体的に堅調に推移。
- ・2023年11月、2024年6月発刊の歯科総合カタログでの価格改定が奏功。歯科以外も順次対応中。
- ・主要都市でのデンタルショー開催、新規開業による大型案件の増加等により大型機器販売が引続き好調。

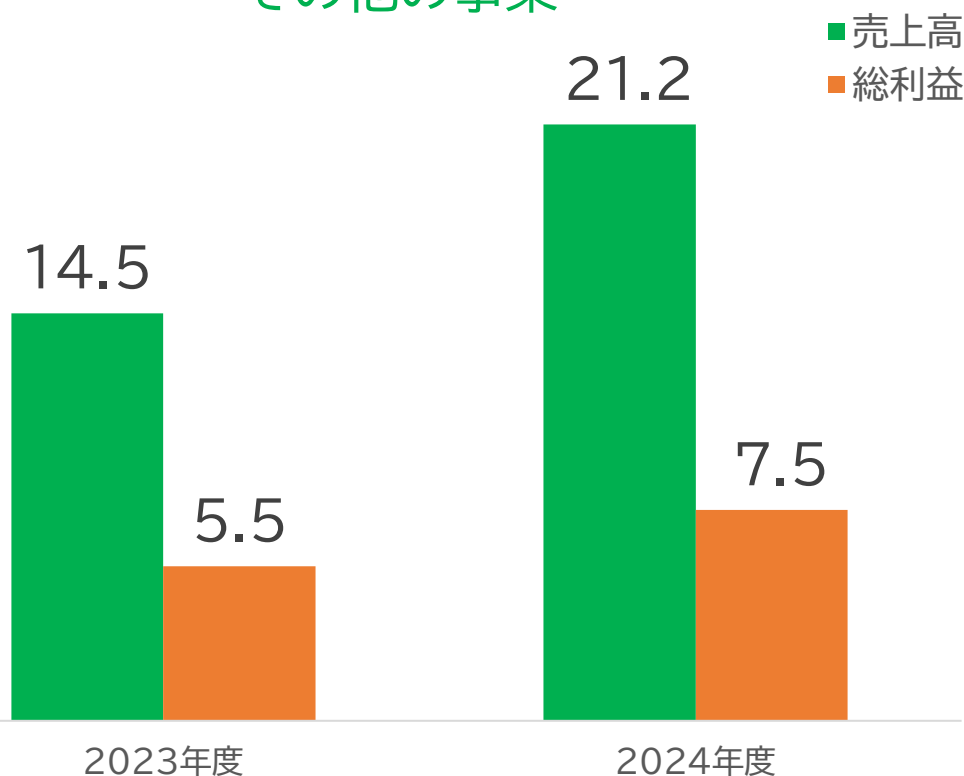
総利益 +0.9億円

- 【+】・歯科総合カタログでの価格改定が奏功。
- 【-】・円安、原材料高の影響により総利益率が減少。

(単位:億円)	2023年 6月	2024年 6月	増減	
			金額	前年比
歯科関連	179.1	190.1	+11.0	106.1%
歯科関連以外	28.4	31.9	+3.5	112.3%

2024年度 第2四半期 各事業の売上高・総利益

その他の事業



売上収益 +6.7億円

- 【+】・今年6月の保険収載に伴い、口腔内スキャナの販売台数が大幅に伸長。技工物のデジタル化に伴い、技工所向けのCADソフトウェアの販売も大きく伸びた。
- ・電力価格高騰が落ち着き、電力売上収益は増加。一時停止していた「Ciでんき」新規申込も営業を強化し、申込数が増加中。

総利益 +2.0億円

- 【+】・デジタルソリューションサービスが好調。特にクラウド型予約システム販売はLINEとの連携を開始以降、顧客数を伸ばしている。
- 【-】・電気取次(売上収益=総利益)以外の事業が大きく伸長したため、対前年比で総利益率が減少。

(単位:億円)	2023年 6月	2024年 6月	増減	
			金額	前年比
CAD/CAM関連事業 (技工用機器・システム販売、技工物製造)	13.7	19.3	+5.6	141.1%
電力小売取次	▲0.0	0.9	+0.9	-
デジタル・ソリューション・サービス (HP作成代行サービス、クラウド型予約システム販売)	0.4	0.5	+0.1	137.8%
その他	0.4	0.4	▲0.0	93.4%

2024年度 第2四半期 販売費 及び 一般管理費



(単位:億円)	2023年 6月	2024年 6月	増減		
			金額	前年比	主な要因
給与手当	7.5	8.2	+0.8	110.5%	ロジスティクスセンター 及び事業企画部門等で 人員強化の一方、新物流センターの設備自動化等に 伴い倉庫人件費は減少
倉庫人件費	4.0	3.1	▲0.9	76.5%	
広告宣伝費	3.6	3.2	▲0.5	87.1%	前第2四半期は新物流センター稼働を見据え、通販事 業の新規顧客獲得及び継続取引を狙いセールに注力 していたこともあり、当第2四半期は減少
荷造運賃発送費	10.7	12.0	+1.3	111.8%	売上増加に伴う出荷量の増加、新旧物流センター並行 稼働に伴う荷造運賃の増加等
減価償却費 ※	1.8	10.4	+8.7	590.9%	新物流センター竣工により、2023年9月より同セン ターに係る減価償却が開始
のれん償却	0.4	0.4	±0.0	100.0%	2022年度に連結した歯科技工子会社に係るのれん 償却費
その他	13.6	15.1	+1.5	110.8%	並行稼働期間中に発生した梱包材料費等の増加等
合 計	41.6	52.4	+10.8	125.9%	
従業員数	470	494			
臨時雇用者数	585	477			

※経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の金額確定は2024年12月期下半期に見込んでおり、対象固定資産の圧縮記帳の影響は減価償却費の減額効果等により、2024年12月期及び2025年12月期以降の業績に反映される見込みです(2024年度第1四半期は圧縮記帳前の固定資産価額を基礎として減価償却計算をしております)。

貸借対照表

(単位:億円)		2023年 12月末	2024年 6月末	増減	
				金額	前年比
流動資産	178.5	208.6	+30.1	116.9%	
固定資産	236.6	235.1	▲1.4	99.4%	
資産	415.1	443.8	+28.7	106.9%	
流動負債	208.7	233.5	+24.8	111.9%	
固定負債	5.0	5.1	+0.2	103.1%	
純資産	201.4	205.1	+3.8	101.9%	
負債・純資産	415.1	443.8	+28.7	106.9%	
自己資本	200.6	204.2	+3.6	101.8%	
自己資本比率	48.3%	46.0%	—	—	
現預金	17.0	61.3	+44.3	360.8%	
売掛債権・未収入金	66.9	50.6	▲16.4	75.5%	
棚卸資産	85.9	86.3	+0.4	100.5%	
仕入債務	17.3	18.3	+1.1	106.2%	
有利子負債	171.9	192.1	+20.1	111.7%	

キャッシュフローの状況

(単位:億円)	2023年 6月	2024年 6月	増減
営業キャッシュ・フロー(①)	5.4	36.3	+30.9
投資キャッシュ・フロー(②)	▲4.5	▲9.6	▲5.0
財務キャッシュ・フロー(③)	▲2.6	17.6	+20.2
キャッシュ・フロー合計(①+②+③)	▲1.7	44.3	+46.0
現金及び預金などの期末残高	16.1	61.3	+45.2
フリーキャッシュ・フロー(①+②)	0.9	26.7	+25.8

(単位:億円)	2023年 6月	2024年 6月	増減
設備投資※	66.4	10.6	▲55.8
減価償却費	1.9	10.6	+8.7

※主な設備投資: 新本社ロジスティクスセンター関連(石川県能美市にて建設・2023年10月竣工)

2024年度 通期業績予想

2024年度 通期 連結業績予想



(単位:億円)	2024年度 上期		2024年度 下期		2024年度 通期	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
売上高	236.6	106.6%	263.4	112.4%	500.0	109.6%
営業利益	10.3	58.2%	25.0	204.7%	35.3	118.0%
経常利益	10.8	55.1%	25.4	190.0%	36.2	109.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6.6	53.6%	17.9	209.1%	24.5	117.6%
経常利益率	4.5%		9.7%		7.2%	
一株当たり当期純利益	13.15円		35.81円		48.95円	

※現時点では、2024年2月13日に発表した業績予想からの修正はございません。

※12ページ記載、補助金額の確定に伴う圧縮記帳は2024年度下期に実施予定のため、同年度上期に計上する減価償却費は一旦は圧縮記帳前の固定資産価額を基礎として計算・計上(約1.7億円/月)しますが、通期では圧縮記帳後の固定資産価額を基礎として計算した減価償却費(約0.9億円/月)の12か月分を計上予定です。

(単位：円)	1株当たり連結純利益および配当金				
	2022年度 (実績)	⇒	2023年度 (実績)	⇒	2024年度 (予想)
1株当たり連結純利益	252.16	⇒	208.27	⇒	244.77
中間配当金	0.00	⇒	0.00	⇒	0.00
期末配当金	25.22	⇒	25.22	⇒	未定
年間配当金	25.22	⇒	25.22	⇒	未定

※当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。
2022年度(実績)および2023年度(実績)については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

配当性向目標：連結純利益の10%

現時点では、配当予想額は未定です

APPENDIX

2024年7月1日付で(株)ニッセンホールディングスの全株式を取得し、子会社化いたしました。

》》》 ニッセンHDの株式取得のねらい

- ・昨年竣工した新物流センターの出荷・保管能力を活かし、自社だけでなくニッセンや昨年出資した白鳩の物流も請け負うことで、利益率向上を図る
- ・両社の強みや弱みを持ち寄り、通販事業全体を強化
- ・高齢化に向け、介護関連の通販においてファッションの取り扱い強化など

》》》 ニッセンの魅力

- ・圧倒的な商品数や顧客数を持っていること
- ・Ciとは異なるマーケットと商材を持っていること（主に女性向け）

》》》 取り組み進捗

- ・クロスセル(Ci商品をニッセンで販売し、ニッセン商品をCiで販売)を開始

》》》 2024年12月期連結業績に与える影響について

同社株式取得が当社の2024年12月期連結業績に与える影響につきましては現在精査中です。

公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。



豊富な商品数

2024年6月27日付で韓国Imagoworks社と資本業務提携いたしました。

Imagoworks社とは

AIを使って歯科分野の発展を目指す韓国のソフトウェア開発企業

Imagoworks社とCiの過去の取り組み

2022年「Dentbird」独占販売代理店契約を締結

2023年「Dentbird」サービスを開始



1歯約1分でデザインが完了

Dentbirdとは

AIによるオンライン型技工用CADソフト

クラウン(かぶせ物)のデザインを、AIにより自動で行うことができる

歯科技工業界の人員不足が深刻化する一方、口腔内スキャナの普及により技工デザイン業務の増加が見込まれているが、Dentbirdによりデザイン業務時間を短縮することができ、人員不足問題の解決に寄与できる。

資本業務提携のねらい

- ・両社の関係を一層強化し、サービスを販売するだけでなく課題点等をフィードバックすることで、より顧客のニーズに沿ったサービスを提供することができる
- ・デジタル歯科技工分野の新たなサービスの開発に両社で取り組むことができるなど

先生と患者さんに喜ばれたい

Cjメディカル